

---

# 変詩 4

HEERO

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

変詩4

### 【Nコード】

N0663R

### 【作者名】

HERO

### 【あらすじ】

ウオオオオ！！ ちまちま書いてた変詩（“変な詩”の略）の第4段ができたぞおおおい！！ 暇を持って余してる老若男女よ、ここへ集え！！ そして白けよ！！

変詩1【罪深き颯風】

風が嫌いだ

奴は私の嘘を吹き飛ばす

風が嫌いだ

奴は私の醜さを暴き出す

風が嫌いだ

奴は私の財産を奪い去る

風が嫌いだ

奴は私の存在を笑いに変える

嗚呼…

ヅラよカムバック

変詩2【ビッグドリーマー・ヤスオ】

私は“仮面ライダー”

親友のヤスオは“ウルトラマン”

それが私達の幼い頃の夢

「絶対になるぞ！」

私とヤスオはそう誓い合った

時は流れ

目指す先は次第に現実的なモノへと変化してゆく

…はずなのだが

ヤスオの夢は相変わらずウルトラマンだった

中学生になってもウルトラマン

高校生になってもウルトラマン

ウルトラマン…

ウルトラマン…

ウルトラマン…

呆れた私は 彼と距離を置いた

ヤスオとの交流を絶つたまま 私は大人になった

私は現在 外交官として世界中を飛び回っている

そんなある日

乗っている飛行機が原因不明のトラブルに見舞われた

墜ちる飛行機

子供の頃の記憶が走馬灯のように駆け巡る

渦巻く過去の映像 その奥に見えるのは…ヤスオ

機体が浮いた

窓から外を覗くと巨大な顔が見える

ウルトラマンだった

彼が飛行機を肩に担いでいるのだ

飛行機は空港の滑走路に優しく下ろされた

外へ出た私は すぐさまウルトラマンの元へ駆け寄る

「ヤスオ！ お前、ヤスオなのか！」

その声に気付いたウルトラマンは 私をゆっくり見下ろすと…

思い切り首を傾げた

「ちゃうんかい!!」

日本に戻った私は 久しぶりにヤスオと連絡を取った

彼は現在 ニートという職についているらしい

変詩3【Lie or True】

少しでいい

この世界を疑ってみよう

きつと面白いものが見えてくる

今まで信じ続けてきたものの裏側に  
今まで気にしないフリをしてきた違和感に  
今こそ目を向けるんだ

僕は厚化粧の彼女にバケツの水を被せた

溶けだす化粧

曝される本当の姿

僕の彼女は65歳だった

変詩4 【I · m happy?】

「お前は比較的恵まれている  
だから多少のことで歎きな  
幸せを噛み締めろ」

私はそう教えられてきた

口内炎（×3）ができた  
むちゃくちゃ痛い

だけど尿管結石（×3）の人に比べたらたいしたことはない  
だから私は幸せなのだ

同僚に企画を盗まれた  
むちゃくちゃ憎い

だけど泥棒に全財産を盗まれた人に比べたらたいしたことはない  
だから私は幸せなのだ

恋人から別れを告げられた  
むちゃくちゃショック

だけど恋人を亡くした人に比べたらたいしたことはない  
だから私は幸せなのだ

会社から消えることになった  
むちゃくちゃ悔しい

だけどこの世から消える人に比べたらたいしたことはない  
だから私は幸せなのだ

ある日 私は血を吐いた  
溢れる涙 止まない嗚咽

おかしい

おかしい  
おかしい

幸せなはずなのに 何故？

### 変詩5【教えておじいさん】

「温暖化の真実  
医療機関の裏側  
大麻が禁止されている本当の理由  
その他諸々…

わしはそういつた話を聞いてると 目眩や吐き気に襲われるんじゃ！

今ある常識の多くは 一部の人間の保身や利益のためだけに作られた洗脳に過ぎん！  
頭をやられた世間はそれを堂々と押し付けてくる  
実に腹立たしい！！

確かに何も考えず従い続けるのは楽じゃ  
誰にも攻撃されない しがらみも生まれ  
ない  
じゃがふと冷静になると 恐ろしい程の違和感や虚しさに気が狂い  
そうになるんじゃよ！

わしらの目や耳は 偽りを黙って受け入れるためについてるんじゃ  
ない！

一人一人があらゆる経験を通し 自分自身の真実を定めていくため  
についておるのだ!!

純粹に 自分の内から湧き出てくる感情や思考

それらを蔑ろにし 先人の言うことをただ鵜呑みにするだなんて馬  
鹿げておる!

既成概念など自分を作り上げる材料に過ぎん!

少しでも疑問を抱くようなコトなら信用するな!

自分が信じたモノ それだけが真実じゃ!

だからわしの言うことも信用する必要は無い!

お前にはお前の真実があるんじゃないかな!!

聞いたるのか ハイジ!!

「おじいさん…めっさ怖い…」

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n0663r/>

---

変詩 4

2011年10月3日19時56分発行